

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公開番号】特開2008-34954(P2008-34954A)

【公開日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-006

【出願番号】特願2006-203544(P2006-203544)

【国際特許分類】

H 04 N 5/91 (2006.01)

H 04 N 5/765 (2006.01)

H 04 N 5/76 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

G 11 B 20/12 (2006.01)

G 11 B 27/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 P

H 04 N 5/91 L

H 04 N 5/76 Z

G 11 B 20/10 F

G 11 B 20/12

G 11 B 27/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月24日(2009.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力された映像データを記録媒体に記録する映像記録装置であって、

前記記録媒体のうち、複数種類のファイルシステムを含む少なくとも1つのサブ領域を有する記録領域を管理する管理手段と、

前記サブ領域のうち、外部機器からアクセス可能とするサブ領域を決定する領域決定手段と、

前記領域決定手段により決定されたサブ領域に含まれるファイルシステムに基づき、前記外部機器にアクセスさせるファイルシステムを決定するファイルシステム決定手段とを備えることを特徴とする映像記録装置。

【請求項2】

前記複数種類のファイルシステムは、前記サブ領域に含まれるファイルを1つのファイルとして管理するための第1のファイルシステムを含むことを特徴とする請求項1記載の映像記録装置。

【請求項3】

前記複数種類のファイルシステムは、前記サブ領域に含まれるファイルを1つのファイルとして管理するための第1のファイルシステムと、前記サブ領域に含まれるファイルを個別のファイルとして管理するための第2のファイルシステムとを含むことを特徴とする請求項1記載の映像記録装置。

【請求項4】

前記サブ領域の設定を行うための設定手段をさらに有し、
前記設定手段は、ユーザによる操作に応じて前記サブ領域を設定することを特徴とする
請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の映像記録装置。

【請求項 5】

前記サブ領域の設定を行うための設定手段をさらに有し、
前記設定手段は、前記サブ領域に含まれるデータの記録形式を設定し、
前記サブ領域は、前記設定された記録形式に対応したファイルシステムを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の映像記録装置。

【請求項 6】

入力された映像データを記録媒体に記録する映像記録装置の制御方法であって、
前記記録媒体のうち、複数種類のファイルシステムを含む少なくとも 1 つのサブ領域を有する記録領域を管理する管理工程と、
前記サブ領域のうち、外部機器からアクセス可能とするサブ領域を決定する領域決定工程と、
前記領域決定工程にて決定されたサブ領域に含まれるファイルシステムに基づき、前記外部機器にアクセスさせるファイルシステムを決定するファイルシステム決定工程とを備えることを特徴とする制御方法。

【請求項 7】

入力された映像データを記録媒体に記録する映像記録装置の制御方法を当該映像記録装置に実行させるためのプログラムであって、
前記映像記録装置を
前記記録媒体のうち、複数種類のファイルシステムを含む少なくとも 1 つのサブ領域を有する記録領域を管理する管理手段、
前記サブ領域のうち、外部機器からアクセス可能とするサブ領域を決定する領域決定手段、
前記領域決定手段により決定されたサブ領域に含まれるファイルシステムに基づき、前記外部機器にアクセスさせるファイルシステムを決定するファイルシステム決定手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】映像記録装置及びその制御方法、並びにプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、映像記録装置及びその制御方法、並びにプログラムに関し、特に、入力された映像データを記録媒体に記録する記録手段と外部の機器に接続して通信を行う通信手段とを備える映像記録装置及びその制御方法、並びにプログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明は、上記問題に鑑みて成されたものであり、映像記録装置が大容量記録装置を備

えている場合に、外部機器にデータ転送を行いたいデータを膨大なデータの一覧から探し出すことなく、容易にデータ転送を実現することができる映像記録装置を提供することを目的とする。また、映像記録装置の制御方法及び該制御方法を実行するためのプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記目的を達成するために、請求項1記載の映像記録装置は、入力された映像データを記録媒体に記録する映像記録装置であって、前記記録媒体のうち、複数種類のファイルシステムを含む少なくとも1つのサブ領域を有する記録領域を管理する管理手段と、前記サブ領域のうち、外部機器からアクセス可能とするサブ領域を決定する領域決定手段と、前記領域決定手段により決定されたサブ領域に含まれるファイルシステムに基づき、前記外部機器にアクセスさせるファイルシステムを決定するファイルシステム決定手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記目的を達成するために、請求項6記載の映像記録装置の制御方法は、入力された映像データを記録媒体に記録する映像記録装置の制御方法であって、前記記録媒体のうち、複数種類のファイルシステムを含む少なくとも1つのサブ領域を有する記録領域を管理する管理工程と、前記サブ領域のうち、外部機器からアクセス可能とするサブ領域を決定する領域決定工程と、前記領域決定工程にて決定されたサブ領域に含まれるファイルシステムに基づき、前記外部機器にアクセスさせるファイルシステムを決定するファイルシステム決定工程とを備えることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上記目的を達成するために、請求項7記載のプログラムは、入力された映像データを記録媒体に記録する映像記録装置の制御方法を当該映像記録装置に実行させるためのプログラムであって、前記映像記録装置を前記記録媒体のうち、複数種類のファイルシステムを含む少なくとも1つのサブ領域を有する記録領域を管理する管理手段、前記サブ領域のうち、外部機器からアクセス可能とするサブ領域を決定する領域決定手段、前記領域決定手段により決定されたサブ領域に含まれるファイルシステムに基づき、前記外部機器にアクセスさせるファイルシステムを決定するファイルシステム決定手段として機能させるためのプログラムである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明によれば、映像記録装置に多くのデータが記憶されている場合であっても、ユーザはデータ転送を行いたいデータを膨大なデータの一覧から探し出すことなく、容易にデータ転送を実現することができる。